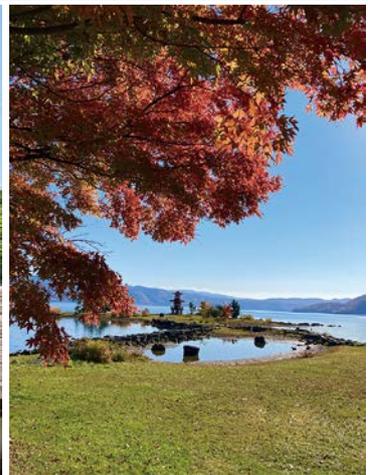
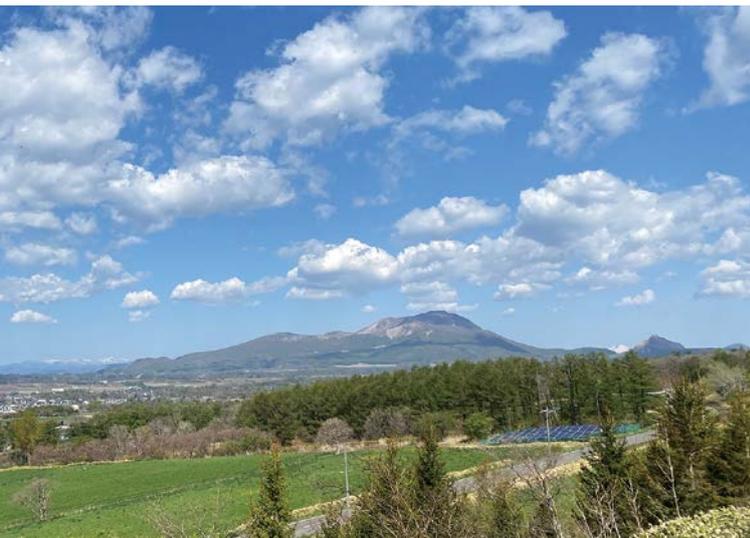




だてしん  
 半期ディスクロージャー誌  
 2022年4月1日～9月30日



## だてしん半期ディスクロージャー

当金庫の2022年9月期（2022年4月1日～9月30日）における半期情報についてお知らせいたします。

なお、以下に掲げる開示項目は、当金庫任意の情報として開示しております。また、各計数については会計監査人による監査を受けておりません。

### ■ 預金者別預金残高

(単位:百万円)

	2022年3月末	2022年9月末	増減額
個人預金	130,320	130,562	242
法人預金	28,375	29,016	641
金融機関預金	159	216	57
公金預金	13,663	17,141	3,478
合計	172,518	176,937	4,419

### ■ 貸出金業種別残高

(単位:百万円)

	2022年3月末	2022年9月末	増減額
製造業	1,672	1,512	▲ 160
農業、林業	359	468	109
漁業	68	64	▲ 4
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-
建設業	5,652	5,284	▲ 368
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-
情報通信業	57	50	▲ 7
運輸業、郵便業	1,579	1,637	58
卸売業、小売業	2,633	2,734	101
金融業、保険業	565	609	44
不動産業	10,516	10,466	▲ 50
物品賃貸業	255	250	▲ 5
学術研究、専門・技術サービス業	138	140	2
宿泊業	676	712	36
飲食業	876	764	▲ 112
生活関連サービス業、娯楽業	1,122	1,155	33
教育、学習支援業	19	20	1
医療、福祉	2,910	2,856	▲ 54
その他のサービス	2,832	2,804	▲ 28
小計	31,939	31,531	▲ 408
地方公共団体	10,590	9,401	▲ 1,189
個人	15,011	15,043	32
合計	57,541	55,976	▲ 1,565

### ■ 損益の状況

(単位:百万円)

	2022年3月期	2022年9月期
業務純益	321	151
経常利益	458	161
当期純利益	455	158

### ■ 信用金庫法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)

区分	開示残高 (A)	保全額 (B)	担保・保証等による 回収見込額 (C)	貸倒引当金 (D)	保全率(%) (B)/(A)	引当率(%) (D)/(A-C)
金融再生法上の不良債権	2022年3月期	2,930	2,826	1,390	96.45	93.25
	2022年9月期	2,950	2,818	1,377	95.53	91.63
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2022年3月期	68	68	34	100.00	100.00
	2022年9月期	64	64	29	100.00	100.00
危険債権	2022年3月期	2,857	2,753	1,353	96.36	93.09
	2022年9月期	2,878	2,746	1,341	95.42	91.43
要管理債権	2022年3月期	4	4	3	100.00	100.00
	2022年9月期	7	7	6	100.00	100.00
三月以上延滞債権	2022年3月期	0	0	0	0.00	0.00
	2022年9月期	0	0	0	0.00	0.00
貸出条件緩和債権	2022年3月期	4	4	3	100.00	100.00
	2022年9月期	7	7	6	100.00	100.00
正常債権	2022年3月期	54,877				
	2022年9月期	53,413				
合計	2022年3月期	57,808	不良債権比率	5.06%		
	2022年9月期	56,363	不良債権比率	5.23%		

(注) 金融再生法に基づき、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」は総与信額で開示しておりますが、「要管理債権」は貸出金のみで開示しております。なお、総与信額は貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、未収利息、仮払金の合計額です。

### ■ 金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

IRRBB 1：金利リスク			
項番		△EVE	
		2022年3月末	2022年9月末
1	上方パラレルシフト	3,551	4,361
2	下方パラレルシフト	0	0
3	スティープ化	2,696	3,429
4	フラット化		
5	短期金利上昇		
6	短期金利低下		
7	最大値	3,551	4,361
8	自己資本の額	7,111	6,282

(注) 1. 「金利リスクに関する事項」については、平成31年金融庁告示第3号（2019年2月18日）による改正を受け、2019年3月末から金利リスクの定義と計測方法等が変更になりました。

2. 金利リスクの算定手法の概要

◆開示告示に基づく定量的開示の対象となる△EVE及び金庫がこれらに追加して自ら開示を行う金利リスクに関する以下の事項

- ①流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期…1.25年。
  - ②流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期…2.5年。
  - ③流動性預金への満期の割当て方法（コア預金モデル等）及びその前提…金融庁が定める保守的な前提の反映により考慮。
  - ④固定金利貸出の期限前返済や定期預金の早期解約に関する前提…金融庁が定める保守的な前提の反映により考慮。
  - ⑤複数の通貨の集計方法及びその前提…計測対象となる主要通貨は日本円のみ。
  - ⑥スプレッドに関する前提（計算にあたって割引金利やキャッシュ・フローに含めるか否か等）
- ・SWAP金利を採用。将来キャッシュフローに対して、月末時点の市場金利情報を基に算出したディスカウントファクターを掛け合わせて算出した割引現在価値を用いて金利リスク量（△EVE）を算出しております。将来キャッシュフローを保有していない金融商品（期間の定めのないもの等）については、月末残高を現在価値とみなし、金利リスク量（△EVE）の算出は行っておりません。

### ■ 業務純益

(単位:百万円)

	2022年3月期	2022年9月期
実質業務純益	321	174
コア業務純益	310	174
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	295	174

(注) 1. 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額

実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。

2. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

## ■ 自己資本の構成に関する事項

(単位：百万円)

項 目	2022年3月期		2022年9月期	
		経過措置による不算入額		経過措置による不算入額
<b>コア資本に係る基礎項目(1)</b>				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	6,803		5,953	
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,100		3,094	
うち、利益剰余金の額	3,740		2,862	
うち、外部流出予定額(△)	33		-	
うち、上記以外に該当するものの額	△4		△3	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	323		346	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	323		346	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	7,127		6,300	
<b>コア資本に係る調整項目(2)</b>				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	16	-	18	-
うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	16	-	18	-
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
適格引当金不足額	-	-	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
前払年金費用の額	-	-	-	-
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-	-	-
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	-	-	-	-
特定項目に係る10パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
特定項目に係る15パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	16		18	
<b>自己資本</b>				
自己資本の額((イ)-(ロ))/(ハ)	7,111		6,282	
<b>リスク・アセット等(3)</b>				
信用リスク・アセットの額の合計額	50,845		53,109	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△300		△300	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)	-		-	
うち、繰延税金資産	-		-	
うち、前払年金費用	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△300		△300	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	2,919		2,919	
信用リスク・アセット調整額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-		-	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	53,764		56,028	
<b>自己資本比率</b>				
自己資本比率((ハ)/(ニ))	13.22%		11.21%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

## ■ 所要自己資本の額

(単位：百万円)

区 分	2022年3月期		2022年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
信用リスク(イ)	50,845	2,033	53,109	2,124
オペレーショナル・リスク(ロ)	2,919	116	2,919	116
総所要自己資本額((イ)+(ロ))	53,764	2,150	56,028	2,241

(注) 所要自己資本額=リスク・アセット×4%

## ■ 有価証券の時価情報

### (1) 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種 類	2022年3月末			2022年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地方債	26,092	26,362	270	22,194	22,379	185
	社 債	3,799	3,828	28	700	701	1
	その他	500	505	5	200	203	3
	小 計	30,392	30,696	304	23,094	23,284	189
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地方債	3,674	3,644	▲ 29	4,572	4,514	▲ 57
	社 債	3,272	3,241	▲ 30	6,365	6,289	▲ 76
	その他	500	494	▲ 5	800	778	▲ 21
	小 計	7,446	7,380	▲ 66	11,737	11,582	▲ 155
合 計	37,839	38,077	238	34,832	34,866	34	

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 上記の「その他」は、外国証券等です。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。  
 4. 時価と貸借対照表計上額が同額の有価証券は、「時価が貸借対照表計上額を超えるもの」に含めております。

### (2) その他有価証券

(単位：百万円)

	種 類	2022年3月末			2022年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	1,128	1,121	6	355	352	2
	国 債	5	5	0	1	1	0
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社 債	1,122	1,115	6	353	350	2
	その他	3,136	2,880	256	1,004	741	263
小 計	4,265	4,001	263	1,359	1,093	265	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	8,222	8,394	▲ 171	10,278	10,660	▲ 382
	国 債	1,928	1,995	▲ 67	1,834	1,996	▲ 161
	地方債	3,616	3,685	▲ 68	4,442	4,551	▲ 109
	社 債	2,678	2,713	▲ 35	4,001	4,113	▲ 111
	その他	2,204	2,360	▲ 155	5,124	5,699	▲ 574
小 計	10,427	10,754	▲ 326	15,402	16,360	▲ 957	
合 計	14,692	14,755	▲ 63	16,761	17,453	▲ 691	

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 上記の「その他」は、外国証券等です。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

### (3) 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券 (単位：百万円)

	2022年3月末	2022年9月末
非上場株式	9	9
投資事業組合等への出資	9	8
合 計	18	18

## 地域活性化等に向けた取組み

### ■農業関連支援にかかる取組み

当金庫は、2017年に「地域農業を考える会」（現「西いぶりアグリチャレンジ会議」）を設立し、西胆振地域の基幹産業である農業が抱える課題に向き合い、農業生産者と共に地域の農業振興に向けた取組みを進めています。

2022年度上期は以下の取組みを実施しました。

#### <伊達信金アグリベーシックセミナーの開催、アグリサポート情報の発行>

栽培知識の向上等を目的として、地域の農業者を対象に「アグリベーシックセミナー」の定期開催ならびに「アグリサポート情報」の発信を行っております。

アグリベーシックセミナーは、自治体やJA、種苗メーカーとも連携しながら、栽培技術の基本から課題解決のポイントなど、さまざまな内容をテーマとして開催しており、2022年度上期においては、計3回の開催で、延べ90名の方々にご参加いただきました。

また、「トマト」、「ブロッコリー」等個別の農産物に対する、その時点での留意点を「アグリサポート情報」として、都度発信しております。これらの情報は、農家宛に直接発信しているほか、当金庫Facebookにも掲載しております。

今後も、「アグリベーシックセミナー」、「アグリサポート情報」は、定期的な開催、発行していく予定です。

#### <環境制御技術（ICT）実証試験の実施>

地域の農業での労働力不足解消や農産物の収量・品質向上を目的として、地域の3農家ならびに農業試験場、種苗メーカー等にも協力いただき、2021年8月より環境制御技術（ICT）の実証試験を開始しております。

今後、この実証試験で得られた知見を地域の農業者や関係機関へ提供し、地域全体でのICT技術の普及に取組む予定としております。



農業専担部署アグリサポート担当の活動

### ■取引先支援に向けた取組み

当金庫の経営サポート専門チームである経営支援室は、外部機関や各種補助金などの公的支援制度を活用して、経営者の皆様がお抱えるお悩みの解決をお手伝いしております。

その一例として、現在、ふるさと納税による販路拡大支援を実施中です。

これは、信金中央金庫からの法人版ふるさと納税「SCBふるさと応援団」の寄附を受け、取引先のふるさと納税返礼品の増加による売上向上と市税の増加を計画して実施しております。7月21日には、商品のブラッシュアップを希望する事業者を集め、専門家による個別支援を実施しました。

その他にも、札幌商工会議所と連携した中小企業診断士の実習生による総合経営診断の無償提供など、今後も、取引先の販路拡大支援やビジネスマッチング等も含めて、幅広く経営支援を行ってまいります。



ふるさと納税ブラッシュアップ支援



診断士養成課程

## 地域貢献等の取組み

### ■プレミアム付商品券事業への協力

当金庫は、コロナウイルス感染拡大の影響を受けている地域経済の振興を目指し、行政、商工団体、観光協会とともに地域に必要な経済振興策についての議論を行っております。

2022年度上期においては、前年度に引き続き、各自治体のプレミアム付商品券発行に際し、保管・販売・換金等の販売協力も実施しています。

### ■社会貢献活動

以下の地域イベントや清掃活動などにボランティアとして参加いたしました。

- 4月17日(日) 伊達ハーフマラソン（伊達市内）
- 5月7～8日(土・日) ブドウ畑の苗木の定植（伊達市乾町）
- 5月15日(日) 洞爺湖マラソン大会（洞爺湖町・壮瞥町内）
- 5月28日(土) 「とうや湖ぐるっと彫刻公園」清掃（洞爺湖町）
- 6月5日(日) 室蘭支店店舗前歩道の植栽（室蘭市中島町）
- 6月11日(土) 駐車帯花壇づくり（伊達市館山町）
- 6月25～26日(土・日) TOYAKOマンガ・アニメフェスタ2022（洞爺湖温泉地区）
- 7月18日(月) だて歴史の杜2022キッズトライアスロン大会（伊達市内）



駐車帯花壇づくり

## 2022年度上期だてしんトピックス

4月

- 第1回「アグリベーシックセミナー」の開催

5月

- 第2回「アグリベーシックセミナー」の開催

6月

- 「信用金庫の日」の取組み
- リングプル、使用済み切手の寄贈
- 「TOYAKOマンガ・アニメフェスタ」事務局ボランティア
- 「そうべつ町プレミアム商品券」(第3弾)の販売開始
- 献血の実施
- 清掃および花壇の植栽ボランティア (伊達市・壮瞥町)
- 第73回通常総代会の開催

7月

- 第3回「アグリベーシックセミナー」の開催
- 消防用設備操法フェスティバルの参加
- 「洞爺湖町あつまり商品券2022」の販売開始

8月

- 取引生産者の応援イベント (第5弾)  
環境制御技術 (ICT) 実証実験農家が生産している規格外商品の購入協力

## だてしん 「職域サポート契約」 制度

～従業員の皆様の福利厚生に是非ご活用ください!!～

当金庫と「職域サポート契約」を締結された事業所等にお勤めの皆様が各種ローンを優遇金利にてご利用いただける制度です。

2022年7月1日に開設した「職域サポート対象者様専用WEBページ」では、同日に販売開始の資金用途がご自由な「職域フリーローン」をはじめとする、各種サービスの提供を行っており、さらに本制度をお客様が利用しやすくなっております。

※職域サポート契約件数427先 (9月末現在)



DATE

伊達信用金庫

発行/2022年11月

企画/伊達信用金庫 総務グループ ☎0142-23-3536

[ホームページ] <https://www.shinkin.co.jp/dateshin/>

[Facebook] <https://www.facebook.com/dateshinkin/>



HP



Facebook

本ディスクロージャーは、ホームページにも掲載しております。